

2013.4 — 2014.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2013.4 — 2014.3
八戸ポータルミュージアムはっちの歩み

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| ○館長より | 1 |
| ○はっちについて | 2 |
| はっちの年表 | 5 |
| ○はっちの3周年 | 6 |
| 八戸ライトショー・フェスティバル | 8 |
| BIG 南部裂織プロジェクト | 10 |
| ショートムービーズ | 11 |
| ○はっちの自主事業 | 12 |
| 【中心市街地賑わい創出事業】 | |
| イベント連携事業 | 13 |
| ライブラリ事業 | 14 |
| モヨッテ参道の日～中心街におしゃれして出かけよう～ | 15 |
| まちなか手書きマップ | 16 |
| 市民活動支援事業 | 18 |
| はっちのゴールデンウィーク | 19 |
| はっちのたなばた | 20 |
| はっちのクリスマス | 21 |
| はっちのお正月 | 22 |
| はちのへ雛めぐり | 23 |
| 【文化芸術活動支援事業】 | |
| 和日カフェ～毎月第3日曜日は日本文化に親しむ日～ | 24 |
| アーティスト・イン・レジデンス事業 | 27 |
| 酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～ | 28 |
| アートプロジェクト制作実践入門講座 | 30 |
| 【ものづくり支援事業】 | |
| ものづくり支援事業 | 31 |
| はっち市2013～はっちがちっちゃな街になる～ | 32 |
| ものづくりスタジオ | 34 |
| 【観光振興事業】 | |
| お祭り in はっち2013(八戸三社大祭) | 35 |
| えんぶり in はっち | 36 |
| A-FACTORY 出展 | 37 |
| 市民学芸員・はっち特派員 | 38 |
| ○情報発信事業 | 39 |
| ○貸館事業 | 40 |
| ○ボランティアガイド | 42 |
| ○こどもはっち | 43 |
| ○2013年度 はっちの自主事業一覧 | 45 |

hacchi
3th Anniversary!!





2013年度を振り返って

八戸ポータルミュージアム はっち
館長 風張知子

八戸ポータルミュージアム「はっち」は、元気をなくしたまちなかに再び人を呼び戻し、元気にするきっかけをつくる施設であり、プロジェクトとして、2011年2月11日開館しました。以来地域の資源を大事に想いながら、市民のみなさまとともにシビックプライドを醸成するようなさまざまな事業を展開してまいりました。

そして、オープンから3年目を迎えた今年度は八戸の美がテーマでした。「八戸ビューティ」プロジェクトとして、映像をはじめとする「アート」の手法で八戸の美を顕在化させ、より強く、より美しい八戸の姿を全国・世界に発信しました。なかでも、八戸地方に昔から伝わる伝統工芸南部裂織を市民500人で織り込んだ8畳×4枚の「市民で紡ぐビッグ南部裂織」が、3周年記念のその日、はっちひろばに掲げられた瞬間は、まさにこれまで継承し続けてきた地域の宝を市民が一丸となって創り上げ大事に想った瞬間でもあったと思います。

こうした取り組みが評価され、この年「はっち」はグッドデザイン賞を受賞しました。受賞理由は「はっちでは、地域のさまざまな機関や人が関わって、地域づくりに参画できる仕組みを提供している。『市民が主役になれる新たなステージ』には、さまざまな地域社会の可能性が集まってくる。人と人との出会いや交流から生み出される新たな価値が、地域のオリジナリティや魅力を醸成する。そのための交流拠点デザインされているから」ということでした。

「人がまちを想う場」、「人がまちを動かす場」を提供することで自分のしていることが市民や観光客に喜ばれているという達成感を感じてくださる多くの皆さんが主体になり活動してくれています。そのような方々から日々刺激を受け、新たな八戸の魅力を再認識し続けることのできる私たちは幸せだと思っています。

多くのみなさんと一緒に創り上げてきた2013年度の記録をご覧いただき、八戸の元気を感じていただければ幸いです。

関わってくださっているおひとりおひとりに心から感謝しつつ……。

はっち 78 19 hacchi

はっちは『ソウゾウ開化』のために生まれました。

「ソウゾウ」と聞いて何を思い浮かべますか。

アートであったりデザインであったりするかもしれません。

「ソウゾウ」とは、まちやひとを想う視点を変えてみることであり、

その「本質」を育てる取り組みであると考えます。

「本質」を育てると何になるでしょう。

「本質」が大きく育つと「ブランド」と呼ばれてきます。

まちのシンボルとなる「ブランド」は、「ひと」の絆を育てていきます。

では「本質」はどこにあるのでしょうか。

一見関係もなさそうな身近なところに、実はそっと存在しています。
あまりにも距離が近すぎるために、見落としているだけではないでしょうか。

その見落としている「本質」を探しだすこと、

そのために、ちょっと今までとは違う視点で見てみることに、

そして、その具体的な活動が「ソウゾウ」であり、

そういう場や機会をつくるのが

はっちの役割＝『ソウゾウ開化』だと考えています。

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。

地域の特長を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義さんにより、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の八戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日^{いちび}を表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特長を表しています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の八戸から九戸に囲まれている特徴を表しています。また、末広がり縁起のいい「8」にこだわり、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台などのハード面から、8つのミッションや事業における88人の募集などソフト面まで「8」にちなんで取り組んでいます。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと888,888人目の入館者を迎えました。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、3つの事業を行っています。

会場所 づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくりまします。

- ・こどもはっち
- ・はっちひろば
- ・リビング
- ・カフェ、ショップ ほか

貸館 事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

- ・シアター
- ・ギャラリー
- ・各種スタジオ
- ・レジデンス ほか

自主 事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、4つの柱に基づいた事業を展開します。

- ・中心市街地賑わい創出事業
- ・文化芸術振興事業
- ・ものづくり振興事業
- ・観光振興事業・フィールドミュージアム推進事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

- 八戸のやる気をさらに引き出します。
- まちの連帯感をつくりまします。
- ほしいものがあるまちにします。
- 歩きたくなるまちにします。
- 八戸資源を再発見するきっかけをつくりまします。
- 八戸流の情報発信をします。
- 子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくりまします。
- 新しい価値と表現を生み出す場をつくりまします。

2011



2011年2月11日開館

はっちの年表で見る
八戸の変化

2012

来館者数

2012年3月27日
100万人達成

来館者数

2012年2月11日(開館から1年)
888,888人達成

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
90%増
中心街地全体(2010年度比)
30%増

2013

来館者数

2013年5月15日(開館から2年3か月)
200万人達成

中心街の新規事業所

2011年2月11日(はっち開館)～
2013年3月31日に出店した数
50事業所開設(店舗含む)

テナント・複合ビル
整備事業

大型空ビルの民間再開発の動き
(旧ビルの打ち場面積合計17,059m)
3事業

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
145%増
中心街地全体(2010年度比)
40%増

2014

来館者数

2014年3月31日(開館から3年1か月)
2,863,293人

はっちの表彰



はっちの来館者数

2014年3月31日現在 2,863,293人



- 2011. 照明学会 照明普及賞受賞
- 2012. グッドデザイン賞(八戸レビュー)
- 2013. グッドデザイン賞
(市民が地域づくりに参画できる仕組み、プロジェクト)
- 2013. 第33回東北建築賞
- 2013. 「日本建築家協会優秀建築選」100選
- 2014. 文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)
※八戸市が受彰



3rd hacchi Anniversary

はっちの3周年 ~hacchi 3rd Anniversary~

みんなで織ってきた、みんなで紡いでいく…

はっちは、2011年2月11日のオープン以来、まちを元気にするために地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すことをコンセプトに、さまざまな事業を実施してきた。その結果、開館から3年で入館者数は270万人を突破し、中心街にもさまざまな動きが出てきたほか、2013年11月には市民のみなさまが主役となった地域づくりの仕組みが評価され、グッドデザイン賞を受賞するなど、対外的にもはっちの取り組みが注目されている。

このような中、市民とはっちとが進めてきたまちの活性化につながる取り組みを振り返るとともに、次のステップへと踏み出す契機とするため、2014年2月8日(土)から11日(火・祝)に、市民のみなさまと一緒にはっちの開館3周年をお祝いするセレモニーと関連事業を実施した。

8日のオープニングセレモニーは、地元のディキシード・ジャズバンド「Augusta summit band 浪男's DX」がチンドン風に音楽を演奏しながら、中心街を練り歩いてセレモニー会場であるはっちひろばへと入ってくる風変わりな幕開け。続いて、コーラスグループの「グレイセス」とむつみ保育園の園児による「はっちへGO!」の曲とダンスに、はっちの誕生日を祝う「Happy Birthday to You」の曲を披露。コーラスを重ねる毎に、市出身のトランペッター・類家心平さんとピアニストの中嶋錠二さん、浪男's DXの演奏が加わり、市民を挙げてはっちの3周年をお祝いするムードを演出していただいた。

セレモニーの後には、浪男's DXの楽しい演奏に導かれ、中心街へと飛び出してプロジェクション・マッピングの作品を見て回る「ライブショー観覧ツアー」や、はっち館内のさまざまな場所で同時多発的に市内の音楽団体が演奏する「オールフロアコンサート」、食のものづくりスタジオ入居者が提供するサンドイッチを片手に、映像で演出された空間でアーティストと市民とが交流する「3Dイッチナイト」など、地域の資源を使ってアーティストの力を借りながら、中心市街地の賑わい創出や回遊性の向上を市民力で推し進めるといふ、はっちのこれまでの取り組みを象徴するようなさまざまなプログラムを実施し、市民のみなさまとともにこれまでの歩みを再確認した。

9日は、記録的な大雪の中をお越しいただいた市民のみなさまを前に、全部で32畳にもなる巨大南部裂織タペストリーの完成披露セレモニーを開催。青森県伝統工芸士であり、ものづくりスタジオにも入居している井上澄子さんにご指導いただきながら、約8か月をかけ、のべ500名もの来館者が織った作品を背景に、南部裂織の作品を現代のライフスタイルに合わせてプロデュースされた南部裂織のファッションショーを行い、地域が誇る素晴らしい伝統工芸品を通して、八戸の新たな魅力を発見した。この日は前日のセレモニーにもご出演いただいた、類家心平さんと中嶋錠二さんによるジャズライブも開催。市出身で日本ジャズ界の新進気鋭のジャズトランペッターとして注目されている類家さんと、同じく市出身のピアニストの中嶋さんのデュオライブは市内で初ということもあり、多くの方々に来場いただき、二人の演奏をお楽しみいただいた。



11日は、「八戸せんべい汁」をテーマとした市民参加型のロボコン大会を開催。この大会は、2012年度のはっちのアートプロジェクト「はっち流騎馬打毬ロボコン大会」(アーティスト:kosuge1-16)に参加した市民有志が、八戸の地域資源をテーマとしたロボコン大会を開催することで地域の素晴らしさを若い世代に伝えていくことを目的に、自主的に実行委員会を立ち上げて取り組んだものである。はっちの3周年の節目の日に相応しい、八戸の市民力が結集したイベントとなった。

○2014年2月8日(土)

■オープニングセレモニー

- ・出演: Augusta Summit Band 浪男's DX、
むつみ保育園園児のみなさん、グレイセス、
類家心平、中嶋錠二
- ・来場者数: 約300名

■ライトショー観覧ツアー

- ・出演・参加アーティスト: (株)ゼロニウム、釜石拓真、
VJ FATTY、Augusta Summit Band 浪男's DX
- ・参加者数: 約60名

■オールフロアコンサート

- ・出演: Sugar & Spice、Mac+、ガロア

■3ドイツチナイト

- ・出演: (株)インセクト・マイクロエージェンシー
(川村行治、タカヨシ、稲村修)、(株)ゼロニウム、
Peasact、釜石拓真、VJ FATTY、
WINE studios(佐藤利美)、
light source film(佐藤浩幸)
- ・来場者数: 約100名

○2014年2月9日(日)

■市民で紡ぐBIG南部裂織

- 完成披露セレモニー・ファッションショー
- ・協力: 井上澄子、Aqua Agency、昆賀子
- ・来場者数: 約150名

■類家心平×中嶋錠二ジャズライブ

- ・出演: 類家心平、中嶋錠二
- ・入場者数: 143名

○2014年2月11日(火・祝)

■八戸せんべい汁ロボコン大会

- ・参加チーム数: 12チーム
- ・来場者数: 約300名





はっち3周年のメイン企画の一つである「八戸ビューティ」は、八戸市の震災からの復興を内外に発信し、観光・サービス業の活性化や中心街の賑わい創出のため、また、市民のまちに対する誇りの醸成を図るために、改めて八戸固有の多様な美について、映像をはじめとする「アート」の手法でアプローチしたものである。より強い、より元気な、より美しい八戸の姿を積極的に発信することができた。

八戸ライトショー・フェスティバル
BIG 南部裂織プロジェクト
ショートムービーズ



2013年度のはっち事業を貫くテーマである「八戸ビューティ」の一環で、話題のプロジェクションマッピングなどの技術を取り入れ、八戸の魅力テーマとした5つの映像作品を、はっちと中心街の5会場で公開し、たくさんの方にご覧いただいた。

作品は公募による5組のアーティストが制作したが、当市出身の大学生や、秋田市、仙台市のCG制作会社や専門学校など、さまざまなジャンルの方に応募いただいた。

内容も3Dのコンピュータグラフィックを駆使して、三陸復興国立公園に指定された種差海岸をテーマにしたものや、タコ漁の船に乗り込んで取材した力作、国際的に活躍する市内在住DJを取り上げたものなど、バラエティにとんだ作品が揃い、「またやって！」「八戸でもステキなアートに触れられてうれしかった！」「八戸のことが好きになった！」など、若い世代も含めたたくさんの方からうれしい声を頂戴した。

また、(株)インセクト・マイクロエージェンシーによる映像制作ワークショップを開催し、市民や学生など参加者が制作した素材を使ったプロジェクションマッピング映像を12月のクリスマスシーズンに投影したほか、開館3周年を記念して制作した映像もはっち向かいの旧Recビル壁面(2014年度に解体)に大きく投影した。

このようなイベントを実施できたのは、応募してくださったみなさまの熱意と会場を貸してくださった中心街のみなさまのご厚意、ハイスペックなプロジェクターを無償で提供してくださった八戸市誘致企業のエプソンアトミックス(株)様やエプソン販売(株)様など、多くの関係者とスタッフの力を結集した、まさに「賜物」。

開催中に大雪が降るなど、天気が悪く足元の悪い中、たくさんの方にご来場いただき、八戸の魅力を新たな切り口で発信できた。

- 実施日：2014年2月8日(土)～11日(火・祝)
- 来場者数：4日間合計657名
 - ※中心街3会場(いわとくパルコ、男山ビル、旧マルマツ)
- スタッフや関わった市民の数：公募5組
 - ※うち市出身者2名、三沢市1名、秋田市1名、仙台市1組
- 協力団体
 - 業務委託：(株)インセクト・マイクロエージェンシー
 - 特別協賛：エプソン販売(株)
 - 協 力：エプソンアトミックス(株)、(株)江陽閣、
八戸酒造男山ビル、いわとくパルコ
- 参加アーティスト：(株)ゼロニウム、Peasact、
専門学校デジタルアーツ仙台 CG クリエイター科、
釜石拓真、VJ FATTY



文化芸術
活動振興
事業

BIG 南部裂織プロジェクト

みんなで織った
巨大裂織タペストリー

「はっち」の BIG 南部裂織プロジェクトは、約8か月もの間、延べ500名の来館者のみなさまと伝統の技と心を共有しながら、日々少しずつ織ってきた南部裂織をつなぎ、大きなタペストリーとして完成させたプロジェクト。2月9日(日)には、1階のはっちひろばで八戸南部裂織のお披露目を盛大に行なった。

はっち開館以来、ものづくりスタジオで活躍してこられた八戸南部裂織工房「澄(ちょう)」の青森県伝統工芸士、井上澄子さんのご指導により、赤・青・緑・黄4色の色合いの南部裂織を32畳の大きなタペストリーとして織り上げた。また、古布を裂いて綿糸の玉「ぬき」をつくったり、格子柄が浮き出るように経糸の色を変えたり、織り上げた布を構成し、つなぎ合わせる膨大な作業に、井上さんとアシスタントのみなさんが日々コツコツと専念してくださった。

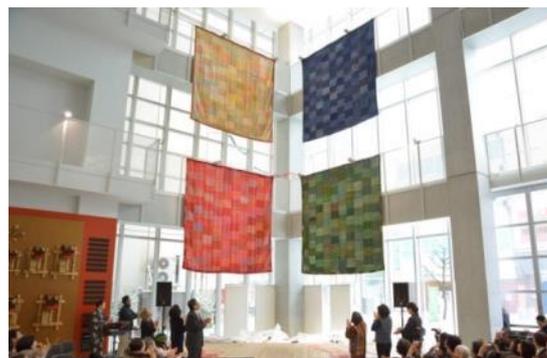
完成した南部裂織タペストリーは、100年以上も使える耐久性をも兼ね備えており、現在は3階「和のスタジオ」でカーペットとして使用している。和のスタジオをご利用のお客様から、肌触りがやさしく、豊かな南部の文化が感じられる、とご好評をいただいている。

○実施期間:2013年4月1日(月)~12月25日(水)

○作品展示:2014年2月9日(日)~24日(月)

○参加者数:延べ約500名(県内外より)

○監 修:青森県伝統工芸士 工房「澄」井上澄子



完成作のお披露目



子どもから大人までみんなで織りました



BIG 裂織をバックに裂織ファッションショー



文化芸術
活動支援
事業

ショートムービーズ

八戸の“美”をアーティストが
映像で可視化

01

八戸の“美”を切り口とした「八戸ビューティ」プロジェクト。その一環となる本企画は、2組のアーティストによる映像制作のプロジェクト。工場内部など普段見られない場所や、マルチコプター撮影などで知られざる風景を可視化した WINE studios、「八戸を舞台とした架空の映画の予告編」というテーマから、独特な視点で迫った light source film。計10作品は、現在 YouTube でも視聴可能。2014年度には WINE studios が八戸で撮影した作品がシカゴとロンドンの映像コンペティションでファイナリストにノミネートされた。市内外に八戸の魅力を発信する企画である。



02



03

○展示：2014年2月8日(土)～24日(月)

○来場者数：約500名(17日間)

○ウェブ公開：2014年2月8日(土)～

○協力団体等

アーティスト：WINE studios、light source film

協力：八戸セメント株式会社、

東北グリーンターミナル株式会社、泉彩菜、

新むつ旅館、青森県立八戸東高校書道部、

井上澄子(工房 澄)、

協同組合八食センター、

アクアエージェンシー、

(公財)青森県フェリー埠頭公社、

八戸市水産科学館マリエント、ほか

■ WINE studios 制作

- ・Tanesashi Coast
- ・Ashigezaki Observatory
- ・Shinmutsu Ryokan
- ・Hachinohe Cement Plant
- ・Nanbu-Uma
- ・Tohoku Grain Terminal

■ light source film 制作

- ・Photogenic Monster
- ・筆に願いを
- ・Run, Kids, Run
- ・あたらしいひかり

01 【Ashigezaki Observatory】

一瞬何かわからないこの無機質な円形の物体は、観光名所の葦毛崎展望台を上から見た風景。

02 【Hachinohe Cement Plant】

普段遠目から眺めている八戸セメントが、実際に稼働している様子は迫力満点。

03 【Run, Kids, Run】

八戸の小学生が地元を冒険するストーリー。

はっちの自主事業

「はっち」は「地域の資源を大事に想うこと」、「市民と協働で行うこと」、「まちなかに回遊させること」をコンセプトに、以下の4つの基本方針に基づいて、分野横断的に事業を展開している。また、市民ひとりひとりが多様な形で参加し、市民が主役になれる仕組みを設けており、地域資源の掘り起こしやシビックプライドの醸成、コミュニケーションの再構築につながるあらゆる取り組みが、市民の手によって日常的に行われている。

「はっち」の自主事業では、これからもたくさんの市民に関わっていただきながら、まちの歴史や文化を大事に想い、これまでとは違った視点からまちの魅力や地域の宝を発見していくことを目的としたい。

中心市街地
賑わい創出
事業

文化芸術
活動振興
事業

ものづくり
振興事業

観光振興
事業





中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

館内のお店による 街中賑やかし大作戦！

はちのへホコテンやお祭りなど街中が歩行者天国になる際は、賑わい創出の一環として、主に食のものづくりスタジオの出店を実施した。飲み物や軽食で、ちょっと休憩をする市民や観光客のみなさんが多く見受けられた。

○実施日

- ・はちのへホコテン：2013年5月26日、6月30日、
8月25日、9月29日、10月27日
5月～10月(7月を除く)最終日曜日
- ・八戸七夕まつり：2013年7月19日(金)～7月22日(月)
- ・八戸三社大祭：2013年7月31日(水)～8月4日(日)
- ・10市大祭典：2013年9月21日(土)～23日(月・祝)

○協力団体：中心商店街連絡協議会





中心市街地
賑わい創出
事業

ライブラリ事業

本を通じて未知の世界に出会う。
ライブラリで安らぎと発見を。

「はっちのライブラリ」は、2階・3階・4階に展開。各階ごとに趣の異なる書籍を常設しており、蔵書数は600冊を超える。貸し出しはせずに館内閲覧のみで「10年後に読んでも新鮮な発見がある本」をテーマに蔵書している。

■2階:「八戸を知る・日本を知る」

文化や観光のほか、各分野で活躍している八戸ゆかりの方々が人生の転機、岐路に大きな支えとした本や常日頃からよく読んでいる本を推薦している「私の本棚」や、八戸市長の本棚などがある。本棚から、推薦者の新たな一面を垣間見ることができる。

■3階:「地元の文学者を知る・深める」

芥川賞受賞作家の三浦哲郎や郷土の詩人・村次郎の作品のほか、八戸ゆかりの方の俳句や短歌の本を自由に閲覧できる。八戸が俳句や短歌の盛んなまちであることを実感できる充実の蔵書である。

■4階:「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」

アートやデザインの雑誌や写真集、広告や情報発信の参考になる雑誌、大人も子どもも楽しめる絵本、暮らしの提案雑誌などが充実。新しい刺激や感性に出会う、仕事のヒントになる、趣味の幅が広がるなど、多様な活用ができるラインナップとなっている。



3階ライブラリには、地元出身作家の三浦哲郎の等身大パネルも。

■「毎月の特集コーナー」設置

5月より4階ライブラリ前に月ごとにテーマを決めた特集コーナーを設置。テーマは、はっち自主事業や美術館、博物館、是川縄文館など、市内文化施設の実施イベントに関連性を持たせたものとするほか、季節感にも視点をおいた設定としている。

- 5月 建築や風景、都市にまつわる本
- 6月 海の姿、海と暮らすこと
- 7月 いいね！日本の現代アート！
- 8月 現代アートがわからない！
- 9月 絵本の中にでかけよう
- 10月 日本文化よ、横丁も。
- 11月 手仕事バンザーイ！
- 12月 いつでも心にファッション
- 1月 冬が呼び起こすイメージ
- 2月 光、ひかり、ヒカリ、HIKARI
- 3月 別れと出会いの息抜きに

■本のまち八戸トークイベントの開催

※「本のまち八戸」構想の一環として開催したトークイベント
「一箱古本市とブックイベントの楽しみ方」

- ・日時:2014年3月22日(土)
- ・講師:武田こうじ(詩人、Book!Book!Sendaiメンバー、仙台市在住)
- ・参加者数:30名
- ・内容:本のまち八戸構想の関連イベントとして開催。
「八戸を本で楽しくする」、「本を遊ぶ・本で遊ぶ」など、コミュニケーションツールの一つとして実施する「一箱古本市」の醍醐味を語っていただいた。



マップ片手にまちなか買い食いツアー中



モヨツテ参道の日 ～中心街におしゃれして出かけよう～

毎月第3土曜・日曜は中心街に
おしゃれして出かけよう

■モヨツテ参道

商店街との連携で、毎月第3土曜・日曜日に中心街にモヨツテ(＝八戸弁で「おしゃれして」)出かける日とし、買い物や食事など中心街の回遊を促す取り組みを実施。中心街の約90の参加店に共通のフラッグを掲示して、モヨツテきたお客様には特典やサービスの提供を参加店舗で行った。

また、はっちインフォメーションでは、モヨツテ来た方にポイントを付与し、ポイントを貯めた方には「トートバッグ」のプレゼントを行った。

- ・実施日：2013年4月～2014年3月の毎月第3土曜日・日曜日
- ・共催・協力団体等：八戸中心商店街連絡協議会 (株)まちづくり八戸、八戸商工会議所
- ・参加者数：モヨツテラカード発行枚数：50枚

■Marble5～ファッションでマチナカをキラキラに～

ファッションで街のコミュニケーションを活性化させることを目的に、中心街の服飾店と協働で行っているプロジェクト。中心街のショップ店員が市民モデルをコーディネートする「リアルクローズ部門」と創作服やオリジナルコーディネートファッションでエントリーする「クリエイティブ部門」を設け、それぞれをプロのカメラマンが撮影した写真を展示した。

また、写真展では来場者による人気投票も実施した。関連企画としてファッションショーも開催し、クリエイティブ部門のモデルが実際に出演し、自作の衣装を披露した。年代・性別を問わずファッションへの関心が非常に高いことがうかがえるほか、協力店舗の場所をマップ等で紹介することで、中心街の回遊を促すことにつながっている。

- ・実施日：写真展 2013年12月7日(土)～29日(日)
ファッションショー 2013年12月22日(日)
- ・協力：八戸工業高等専門学校、アトリエ Sen
- ・参加モデル：49名(参加店：29店舗)
- ・来場者数：写真展 約2,000名
ファッションショー 約200名



みんなでモヨツテまち歩き



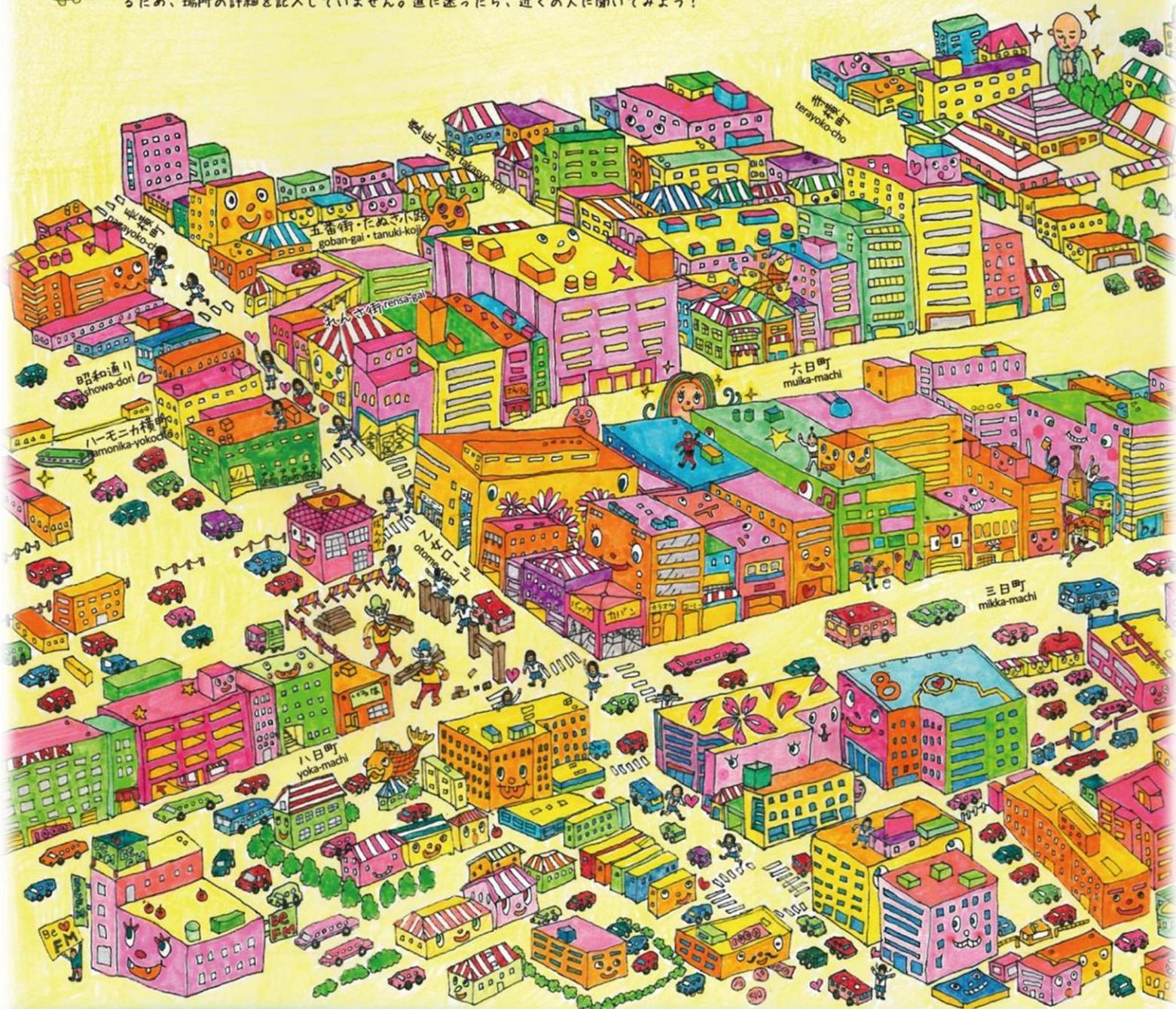
マーブル写真展。誰に投票しようかな。

■まちなか女子目線。委員会による「まちなか手書きマップ」

八戸中心街が「こんな風になったらいいな」という願望も含めた女子目線で取材、発信するプロジェクトを始動。おしゃれはもちろんのこと、文化や地域活性化に関心があるメンバーを中心に「まちなか女子目線。委員会」が結成された。女子が集まるところに男子が集まる。だから、女子目線で情報発信していくのはどうだろう？という発想からマップ作りに着手した。マップ作成では、メンバーが実際に店舗を取材。手書き地図推進委員会からレクチャーを受けるなどし、イラストも文字も全て「手書き」にこだわった地図を制作。完成したマップは好評を博し、中心商店街からは追加配布を依頼され、館内でもひっきりなしに補充を行うなど予想以上の反響に、新たな街の魅力創出と発信につながったと確信した。



(注) このマップには、作者たちの視点や想いが多分に盛り込まれているため、実際の道の距離感や縮尺とは異なることがあります。また、イラストの楽しさを優先しているため、場所の詳細を記入していません。道に迷ったら、近くの人に聞いてみよう！





「まちなか女子目線。委員会」のメンバーがショップの方へ取材

- ・作成部数：19,000部 ※中心商店街を中心に配付
- ・マップ完成記念イベント 2014年3月16日(日)
- 「まちなか女子目線。委員会と行く まちなか買い食いツアー」
- ・協力団体等：モデルクラブ・アンオーブ(当時)、
手書き地図推進委員会





市民活動支援事業

市民の活躍の場を演出

■はっちがずっぱど南部弁〜うん、これアよごあんすナ〜

第1回「はっちがずっぱど南部弁」では、南部地域の生活と深く結びついているのが南部弁であり、心から大切な地域の資源ということに改めて感じることができた。南部弁の魅力は、イントネーションに優しさが込められているところであり、味わい深い八戸弁を堪能できた。

若い世代に南部弁を引き継いでいくためにも恒例の行事とし、末永く地域に残る大切な南部弁を育てるべきとの声も多く聞かれた。

会場は満員で、南部弁への関心の高さが感じられた。また、はっち館内のインフォメーション、カフェ、ショップ等も「ようこそ おんでやんした(ようこそいらっしやいました)」のあいさつで統一し、一体感を演出したことも好評であった。

- ・実施日:2013年12月6日(金)
- ・来場者数:1部120名
2部130名 合計250名



■銀座美人塾 in はっち

「美と健康の専門家 対馬ルリ子先生から学ぶ
〜真の美人を目指すために〜」

八戸特派大使であり、ウィメンズ・ウェルネス銀座クリニック理事長の対馬ルリ子さんを招いての、美と健康をテーマとする講座を開催した。

- ・実施日:2013年8月3日(土)
- ・来場者数:約100名

■第2回はちのへ演劇祭

第1回の演劇祭をきっかけに知り合ったメンバーや、市内外で活動している若手の演劇人が集結し、演劇のまち・八戸をアピールした。

- ・実施日:2014年3月14日(金)〜16日(日)
- ・主催:はちのへ演劇祭実行委員会、八戸市





はっちのゴールデンウィーク

アート、スポーツ、フードでドドンッ！！と
楽しむ26日間



飯田竜太個展では、身体で文字を作るワークショップで賑わった

毎年恒例のイベントのほか、春や子どもの日にちなんだプログラムを多数開催。昨年以上に多くの団体と共催することで、種差海岸の三陸復興国立公園指定を記念しての写真展や映像展開催など、バラエティ豊かなイベントを連日開催した。

■あそぼう！ニュースポーツフェスティバル

(こどもから大人まで楽しめるニュースポーツ体験を実施)

・実施日：2013年4月27日(土)

・参加者数：約250名

・共催：八戸市レクリエーション協会

■飯田竜太個展 The meaning of a meaning 「意味のいみ」

(現代アート作家・飯田氏による作品展やワークショップを実施)

・実施日：2013年4月27日(土)～5月6日(月・祝)

・共催：八戸短期大学

【ワークショップ】

・2013年4月28日(日)、5月5日(日)開催

①人間タイプワーク

②葉書作品ワークショップ

■虎舞水飲み場オープニング2013

～トラの舞がつむぐ三陸の絆～

(冬季休止していた水飲み場を賑やかな催しで活動再開)

・実施日：2013年4月28日(日)

・観覧者数：約150名

・共催：八戸圏域水道企業団

■Marché×Buy はちのへ、市民と花のカーニバル

(フード・アイテムなどが並ぶマルシェとステージイベントを開催)

・実施日：2013年4月29日(月・祝)

・共催：八戸商工会議所

■「私の種差」～三陸復興国立公園指定記念写真展～

(種差海岸をテーマとした見応えのある写真展)

・実施日：2013年5月1日(水)～22日(水)

・共催：八戸市文化協会

・協力：富士フィルムイメージングシステムズ(株)

■ふわり空中散歩展

(北奥羽地方をモーターパラグライダーで撮った鳥の目線から見たような映像と、パラグライダーの実物などを展示)

・実施日：2013年5月1日(水)～8日(水)

・共催：(株)デーリー東北新聞社

・協力：赤間印刷工業(株)

■こどもはっち ワクワクちびっこランド

(普段はないおもちゃや遊具が登場し、はっちが小さな遊園地に変身)

・実施日：2013年5月3日(金・祝)～6日(月・休)

・共催：NPO 法人はちのへ未来ネット

■栗コーダーカルテット ファミリーコンサート at はっち

(「ピタゴラスイッチ」や「ダースパイダーのテーマ」でおなじみのユニット「栗コーダーカルテット」によるコンサート)

・実施日：2013年5月10日(金)

・入場者：約100名



ニュースポーツフェスティバルでは、小さいこどもも思いきり楽しんだ。



「私の種差」写真展、さまざまな種差海岸の表情に人々が足を止めた。



空から眺める八戸の映像とパラグライダーなどの機材の展示に興味津々。

はっちのたなばた

夏の最高潮へ向かう1か月
八戸の夏がスタートする七夕まつり



中心街で踊っている行列が、そのまま館内を練り歩きます。

北のまち八戸の短い夏を飾る「はっちのたなばた」。八戸中心街の七夕まつりと連携して、今年も中心街ストリートからはっち館内を踊りながら通り過ぎた約1,000人の踊り手の皆さんの姿は圧巻。また、夏の風物詩となりつつある八戸ハマルレーションプロジェクト共催の「たなばたピヤベース」も大好評で、長蛇の列ができた。さらに、初めての試みとして、市民公募企画を実施。演劇、ジャズライブ、邦楽コンサートといった公演が人気を集めた。

■七夕たんざくひろば

(来館者にご書いていただいた短冊を展示)

- ・実施日:2013年7月1日(月)~22日(月)
- ・参加者数:約550名

■たなばた茶会

(短冊の飾られたひろばで七夕ならではのお茶席を実施)

- ・実施日:2013年7月20日(土)
- ・参加者数:約300名
- ・共催:茶道裏千家淡交会 青森青年部

■久保田政子「射」展

(種差海岸の三陸復興国立公園指定を祝って、八戸市出身の画家・久保田政子氏による種差海岸を駆ける馬の大作を展示)

- ・実施日:2013年7月17日(水)~8月5日(月)
- ・観覧者数:約1,100名

■年に一度の“七夕”ピヤベース!

(八戸を代表するシェフ達が集結し、みんなで1つの七夕ピヤベースを提供)

- ・実施日:2013年7月21日(日)、22日(月)
- ・共催:八戸ハマルレーションプロジェクト
- ・参加者数:約600名(ピヤベース300食×2日)

■公募企画① はっち演劇大SHOW

(はちのへ演劇祭を機に結成された若手団体による公演)

- ・実施日:2013年7月13日(土)
- ・実施者:まぐねっと.com、Toy Box

■公募企画② 加賀JF ライブ in はっち

(ジャズコンボとフラダンスのライブを開催)

- ・実施日:2013年7月14日(日)
- ・実施者:加賀 JF

■邦楽のひとつとき~天の川誘いコンサート~

(古典から現代まで、大師範の卓越した尺八演奏をお届け)

- ・実施日:2013年7月20日(土)
- ・出演:松の実曾 鈴木操良慈、坂田梁山

■~はっち全館こどもスペシャルデー~

まるごとこどもはっち夏まつり

(ものづくりコーナーやトランポリンなど親子で楽しめるイベントを実施)

- ・実施日:2013年7月15日(月・祝)
- ・入場者:約100名
- ・共催:NPO法人はちのへ未来ネット

■水道企業団ポスター展

(実施日:2013年7月17日(水)~22日(月))

- ・入場者:約100名
- ・共催:八戸圏域水道企業団



こどもはっち夏まつりでの工作教室



市内の腕利きのシェフ合作によるピヤベースが大好評



邦楽のひとつとき~天の川誘いコンサート~



はっちのクリスマス

見て、聴いて、食べて！
盛り沢山のはっちのクリスマス

12月の八戸のまちを彩るイルミネーション。例年のまち中イルミネーションのほかに、今年はプロジェクションマッピングも加わり、まちが鮮やかなキャンパスのようであった。また、はっちのクリスマス恒例の「スイーツフェスタ」では、共催の八戸菓子商工業組合のほか、青森県三八地域県民局、八戸商工会議所からもお菓子の試食や展示の企画が重なり、館内がお菓子で彩られた。また、八戸市内在住の音楽家や学生、八戸出身で東京で活躍する声楽家に出演いただき、コンサートプログラムを複数実施。毎回、満員となった。

■はっちスイーツフェスタ

(市内の菓子店が大集合するお菓子の祭典)
・実施日:2013年11月29日(金)～12月1日(日)
・参加者数:約2,000名
・共催:八戸菓子商工業組合、八戸商工会議所
青森県三八地域県民局

■クリスマスツリー点灯・ライトショー

(「八戸ビューティ」のイベントとしてライトショーとツリーの点灯式を実施)
・実施日:2013年12月1日(日)～25日(水)
・協力:IMA

■高橋みのる「木のからくりあーと展」

(高橋みのる氏による「笑顔」をテーマとした作品展)
・実施日:2013年12月14日(土)～24日(火)
・参加者数:約1,500名

■Marble5写真展

(中心街のショップ店員によるコーディネート写真展)
・実施日:2013年12月7日(土)～29日(日)
・観覧者数:約1,100名

■Marble5ファッションショー

(手作りの洋服でのファッションショーを開催)
・実施日:2013年12月22日(日)
・観覧者数:約80名

■公募企画① なんだりかんだり写真展【改】

(写真を撮る・見る楽しさを伝える作品展)
・実施日:2013年11月30日(土)～12月8日(日)
・参加者数:約300名
・実施者:なんだりかんだり写真展【改】実行委員会

■公募企画② 渚のChristmas展

(シーグラス・貝殻を使ったランプやリースを展示)
・実施日:2013年12月14日(土)～23日(月・祝)
・参加者数:約350名
・実施者:阿部由美子

■クリスマス弦楽&ピアノコンサート

(市内で活躍している演奏家によるクリスマスコンサート)
・実施日:2013年12月14日(土)
・入場者:100名
・出演:澤向直子、蛇口由美子、スイートハーツ

■カクテル&ミートローフのマリアージュでクリスマスを過ごそう

(お家で作れるカクテルとミートローフの料理教室)
・実施日:2013年12月14日(土)
・参加者数:12名
・講師:Sports Café RUOTE

■賛美歌コンサート

(クリスマスにぴったりの賛美歌コンサートを実施)
・実施日:2013年12月21日(土)
・入場者:約200名
・共催:八戸聖ウルスラ学院幼稚園・高等学校音楽科

■クリスマスソプラノコンサート

(TVCMでおなじみ、八戸市出身ソプラノ歌手によるクリスマスコンサート)
・実施日:2013年12月21日(土)
・入場者:約200名
・出演:小渡恵利子

■バトンチーム Aries X'mas ショー「TWIRL MAGIC★」

(バントワラーが華麗に舞うクリスマスエンターテイメント)
・実施日:2013年12月23日(月・祝)
・入場者:約150名



Aries バトンショー



クリスマス弦楽&ピアノコンサート



カクテル&ミートローフのマリアージュでクリスマスを過ごそう



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのお正月

新春のお祝いを盛大に！

3回目となる「はっちのお正月」。中心街のお正月イベントと連携して、八戸中心商店街連絡協議会・コミュニティラジオ局 BeFM、はっちの3者共同で年初のまちなかと、行き交う市民のみなさまを盛り上げる企画を開催。八戸東高校書道部による新春パフォーマンスから始まり、BeFM パーソナリティ対抗クイズ大会、八戸市内プロスポーツチーム対決、はちのへ郷土かるた大会と続く。おがみ神社法霊神楽の披露では、からくり獅子舞時計と、本物の神楽の一斉歯打ち競演もあり、最後は来場者の頭を神楽の獅子が噛む、無病息災祈願のパフォーマンスで終演となった。

実施日：2014年1月2日(木)

入場者：約300名

- 新春書道ガールズ・パフォーマンス
出演：八戸東高校書道部
- 八戸スポーツチームお正月対決2014
出演：ヴァンラーレ八戸、東北フリーブレイズ、青森ワッツ
- BeFM 開局15周年記念
「BeFM みんなニッコリ初笑い」 BeFM パーソナリティ対決
- 法霊神楽一斉歯打ち
- はちのへ郷土かるた大会 参加者18名

○中心商店街のイベント(はっち前会場)

実施日：2014年1月2日(木)

- 和服で福引(和服を着ている方と年男・年女が対象、景品がなくなり次第終了)
- おしるこお振る舞い(先着100名様、2回実施)
- もちつきお振る舞い(先着250名様)



東高校書道ガールズパフォーマンス



つり雛展示の様子

中心市街地
賑わい創出
事業

はちのへ雛めぐり

雛めぐりでまちをつなぐ



江戸～現代まで約200体の雛が勢ぞろい

更上閣・南部会館・はっちに雛人形を展示する当企画は3回目。来場者も多く、まちなかの季節行事の一つとして定着してきた。今回は前年の3企画に加えて琴の演奏会を実施したが、こちらも満席になるなど大変好評であった。また、雛人形展示も、はっちだけではなく、更上閣と南部会館を回ってくる方も多く、まちなかの回遊を生むことができた。例年以上の大雪の中、多くの来客があった。

■雛人形展示

- ・日時：2014年3月1日(土)～3月23日(日)
- ・来場者：4,560名(22日間合計)

■なりきりおひなさま

- ・日時：2014年3月2日(日)
(予約制。各回50名まで)
- ・参加者：100名

■ひな茶席

- ・日時：2014年3月2日(日)
(お茶を点てる体験あり)
- ・参加者：167名

■箏曲演奏会

- ・日時：2014年3月2日(日)
- ・来場者：約30名(満席)

○共催

- 三八五交通株式会社、
- 一般社団法人 八戸市オールオール厚生会、
- 八戸市まちづくり文化推進室

○協力団体

- 財団法人 岡田茂吉美術文化財団 八戸支部、
- NPO 法人はちのへ未来ネット、いちいの会、
- 八戸市美術館ボランティア ハビボ会、
- 中心街協力店舗



かわいいお雛様、お内裏様に会場は笑顔に包まれた



箏の美しい調べに魅了された箏曲演奏会



ひな祭をテーマにしたお茶席でひと休み

文化芸術
活動支援
事業

和日カフェ

毎月第3日曜日は
日本文化に親しむ日

市民が気軽に日本文化に親しめる場や、文化団体の活動機会創出と、中心街の賑わい創出を目的に、毎月第3日曜日に茶道や日本舞踊、いけばななど、はっち流に気軽に多彩なジャンルの日本文化を楽しめる企画を毎月実施している。

■2013年4月21日 72名

いけばな「身近な花でいけばな体験」
茶席「抹茶 café 風でお待ちしております～」
○協力団体：日本生花司松月堂古流青森県支部、
江戸千家岩手不白会松橋社中

■2013年5月19日

【NHK文化センター八戸支社プロデュース企画】399名
津軽・南部三味線公演、バルーンアート体験、
丹田呼吸法体験、楽しい健康おどり体験、スポーツ吹矢体験、
仏像を彫る・木彫展、日本画教室作品展、
心で伝える絵手紙展・体験、和紙ちぎり絵展・体験、
絵手紙体験、陶器に絵付け体験、フェルトで手まり飴を作ろう、
日本舞踊公演(はっち音頭体験、八戸小唄体験)、
和柄のネイルチップ体験、季節の山菜いなりをつくる
○プロデュース：NHK文化センター八戸支社

■2013年6月16日 130名

いけばな「初夏の花に楽しむ」
茶席「これでお茶?! リビングで気軽に一服どうぞ」
○協力団体：草月会青森県支部、裏千家神山社中

■2013年7月21日 190名

いけばな、茶席「和を愉しむ」
○協力団体：池坊八戸支部、
(財)岡田茂吉美術文化財団八戸支部



春の香りいっぱいの山菜いなり作り



いけばな 身近な花でいける



本物の飴のよう。フェルトで手まり飴



スクリーンの景色を「床」に見立てて



大人も子どもも夢中になって楽しんだちぎり絵体験

■2013年8月18日「夏の和日カフェ」

はっちのお化け屋敷「恐怖！9番目の観光屋台」、
着物 de ランチ、着物 de シエスタ、わくわく墨絵体験！、
国酒を嗜む、はっちの縁日(自転車 de かき氷)、
投扇興を楽しみませんか？、
茶席「祭」、浴衣・着物着付けコーナー、
ステージイベント(滝田三絃会三味線・手踊り公演、豊年竹恵
豊年すだれ公演&体験ワークショップ、篠笛演奏を昔話にの
せて、納涼夏祭賑)

○協力団体:たまに庵の一ぼ、日本習字香墨会、
地酒研究会はちのへ、
日本競輪選手会八戸地区、
投扇興を楽しむ会はなみずき連、
茶道宗徧流青森支部、
和服屋前結び・後結び着方教室、
滝田三絃会、豊年すだれ継承者 豊年竹恵、
創作舞踏家 本村千枝子、
山口千笙、山口千舟、
松本幸久美社中、花柳久美絵社中、
アクションクラブ隼風

■2013年9月15日 125名

フラワーアレンジメント、茶席
○協力団体:フラワーアレンジメント Acoustic Flowers、
遠州流茶道八戸支部

■2013年10月20日

「着物をタンスに寝かせてちゃもったいない!!」 319名
着物ショー、八戸小唄スペシャル、着物 de シエスタ
着物 de ランチ、はちのへ郷土かるた大会
着物姿写真撮影、茶席

○協力団体:むらかね、全日本きもの学院、
山路利津子きもの着つけ教室、
こどもはっち、あべさとこ、madrugada、
小坂勝義社中、coco e zodiac、
八戸小唄・八幡馬のうた雅会、
たまに庵の一ぼ、はっちボランティアガイド、
はっちでお茶を楽しむ会



自転車をこいでカキ氷をゲット



投扇興体験 今年も人気



墨絵体験 大人も子どもも真剣そのもの



国酒を嗜む 日本酒も日本文化



ヨーヨーすくいはこちらも大人気



さまざまなバージョンの八戸小唄を披露



モッテ美味しいランチをいただく贅沢



巨大ないけばなオブジェなどステキな空間
演出の中で思い思いに



■2013年11月17日 290名

いけばな「身近にある日用の器にいける」、茶席「紅葉狩り」、
 学校連携企画・高館小学校「装束着付け体験」、「スタンプラリー」、
 「DVD 放映」、「駒踊り実演」
 ○協力団体:(財)小原流八戸支部、
 江戸千家不白会八戸支部、
 高館小学校「駒踊り広め隊」

■2013年12月15日 150名

いけばな「竹にいける part II」
 茶席「師走、一碗のお茶でひとときの安らぎを」
 ○協力団体:一葉式いけばな青森県支部、裏千家武輪社中

■2014年1月19日

【八戸市文化協会プロデュース企画】655名
 日本舞踊、所作・作法講座、篆刻・刻字作品展と体験、
 書道体験・作品展、押し花展、茶会、
 学校連携企画・長者小学校「百人一首の発表&紹介・体験」
 ○協力団体:八戸市文化協会、八戸市立長者小学校

■2014年2月16日 170名

茶席、美術品展示・いけばな「折り紙アート花器づくり」
 ○協力団体:東北電力プラスの会、
 (財)岡田茂吉美術文化財団八戸支部

■2014年3月16日 153名

いけばな「春を活ける」、茶席「弥生の茶席」
 八戸おもてなし音頭講習会
 ○協力団体:龍生派八戸支部、江戸千家不白会八戸支部、
 泉流泉晶



竹の花器でのいけばな体験



折り紙アート花器作り



押し花体験



みんな真剣！百人一首大会



篆刻・刻字体験



浴衣で体験、日本舞踊のワークショップ



自転車で巡ると見えてくる魅力的なスポットをみんなで散策

文化芸術
活動支援
事業

アーティスト・イン・レジデンス事業 ツール・ド・八戸ーハチノへのヒミツー by ポーワング

アーティストの視点でオモシロコースを
自転車に乗って街あるき



ポーワング(牡丹靖佳さん・ヒロキチさん)のお二人



「3時のロコミ」たくさんのヒミツ情報が集まった。

アーティストが長期間はちに滞在して制作・発表を行う「アーティスト・イン・レジデンス」事業、初めて公募で選ばれた企画がこの「ツール・ド・八戸ーハチノへのヒミツー」。

アーティストユニットのポーワング(牡丹靖佳さん・ヒロキチさん)が、約1か月の期間に自転車で八戸市内を調査し、はっちひろばで実施した情報収集イベント「3時のロコミ」による市民の皆さんからの情報も参考にして、顔ハウス、プラントハンターなど6つのコースを作成。一般参加者の方と実際に自転車でコースを走るツアーを実施した。

一見普通でなんでもないような路地が、アーティストの目を通してみるとちょっとチャームングで楽しい風景に変身するのだ。

八戸は坂が多く、冬は道が凍るから自転車に向かないと言われるが、その固定観念からの転換を迫られる感覚は、八戸に暮らしている人々にとって新鮮で心地よい経験となった。

あなたの知らない八戸の魅力を実際に自転車で走ってみてはいかがですか？ コースやプロジェクトの内容についてははっちのホームページ内の「ツール・ド・八戸」のページをご覧ください。

- 実施日：2013年9月24日(火)～11月4日(月・祝)
- 「3時のロコミ」参加者数：約500名
- サイクリングツアー参加者数：6コース合計53名
- スタッフや関わった市民の数：約1,000名以上

文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を 横丁オンリーユースイーター

横丁がアートの劇場になった4日間



手の届く距離でパフォーマンスを楽しめるのが横丁オンリーユースイーターの醍醐味

今回が5度目の開催となったアートプロジェクト「酔っ払いに愛を」。レトロな風情の残る横丁を舞台に、ダンスや演劇など多彩なジャンルのパフォーマンスを4日間開催した。コンテンポラリーダンスや演劇などに加えて、元スナックの狭い空間でのバレエ上演や、アーティスト/ドラッグクイーンのヴィヴィアン佐藤さんと浜のお母さんとのトークイベント、ベリーダンス、コントなど、多彩なジャンルが集まった。本イベントの常連であるダンサー斉藤栄治さんも、映像や日本舞踊とのコラボなど新しい取り組みを行い、新たな可能性が広がったイベントとなった。また、路上でパフォーマンスを行なう un-pa さんの銀色に塗られた姿は、イベントを知らない方々へのアピール効果も大きく、まさに「横丁ジャック」という言葉がふさわしい4日間となった。

○実施日:2013年10月4日、5日、11日、12日

○アーティスト:斉藤栄治、タカヨシ、泉彩菜、
南郷アートプロジェクト(山崎麻衣子、笠井晴子)、
ヴィヴィアン佐藤、十日市秀悦、un-pa、
辻真弓・小笠原雅・黒田眸、矢吹唯、テントセン、
加藤由美&横丁コミュニティダンサーズ、
劇団 INTELVISTA、大庭れいじ、Sagara、梵我、
短距離男道ミサイル、金子愛帆・大園康司、
Misawa International Traveling Show

○来場者数:4日間合計来場者1,589名
チケット販売 477枚

○実行委員:16名

○当日ボランティア:15名





Sagara



梵我



Misawa International Traveling Show



十日市秀悦×大地球



un-pa



短距離男道ミサイル



加藤由美×横丁コミュニティダンサーズ



南郷アートプロジェクト



ヴィヴィアン佐藤

「はちのへ横丁パラダイス」 2013年10月1日(火)～31日(木)

八戸の横丁ではさまざまな団体やお店が主体となって多彩な催しが行われている。それら横丁関連のイベントを、ぎゅっと1か月に味わえるのが「はちのへ横丁パラダイス」。関係団体が協力して1か月間に複数のイベントを開催した。

■日本全国地酒で乾杯！

(被災地をユーストリームでつなぎ、地元の銘酒をはじめ、各地の地酒を片手に同時に乾杯を実施)

- ・実施日：10月1日(火)
- ・主催：地酒研究会はちのへ

■よっぱらいほやじ像の設置、除幕式

(八戸横丁のシンボルとして制作された、ホヤをモチーフにしたキャラクター像の除幕式を実施)

- ・実施日：10月4日(金)
- ・デザイン：竹本真紀(八戸市出身、横浜在住)
- ・制作：青い森カービングクラブ 菅岡仁

■酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～

(横丁の店舗やストリートで、ダンスや芝居などを同時多発的に行うイベント)

- ・実施日：10月4日(金)、5日(土)、11日(金)、12日(土)
- ・主催：酔っ払いに愛を実行委員会・八戸市

■八戸バルウィーク

(会期中5店舗を回り、バルウィーク特別メニューとワンドリンクを楽しめるイベント)

- ・実施日：10月4日(金)～10日(木)
- ・主催：八戸バルウィーク事務局

■横丁探訪家 太田和彦氏講演会

～横丁の魅力と居酒屋文化～

(太田和彦氏による八戸の横丁の魅力と文化についてのトークイベント)

- ・実施日：10月16日(水)
- ・主催：鷹匠小路商業振興会

■第14回 八戸横丁連合 飲みだおれラリー

(5店舗を回り、1日で八戸横丁を満喫できるイベント)

- ・実施日：10月17日(木)
- ・主催：八戸横丁連合協議会

■横丁で見つけるあなただけの隠れ家

～おしゃれメンズがいるBAR～

(隠れ家のようなおしゃれなBARを巡るツアー)

- ・実施日：10月24日(木)
- ・主催：(公社)八戸観光コンベンション協会

■八戸屋台村「みろく横丁」 ロールケーキデコレーション大会

(横丁店主のオリジナルトッピングが楽しい巨大ロールケーキ作りイベント)

- ・実施日：10月27日(日)
- ・主催：(有)北のグルメ都市



アートプロジェクト制作 実践入門講座

受講生が舞台化した 八戸で暮らす人々の物語

2012年度に続き開催した、アートイベントに興味のある方向けの講座。前年度は講義のみだったが、2013年度は八戸で暮らす5人の人生を取材した物語をチームごとに演出し、一つの舞台作品としてまとめあげるといった実践講座を実施。全14回の講座のほか、各チームが自主的に会議や練習を行い、地元アーティストの参加もあって、充実した舞台となった。受講後は受講生各自、アートの活動等に自主的に参加を行っている。

○実施日：2013年9月～2014年1月

○公演来場者数：104名

○講座参加者：13名

○共催・協力団体等

講師：吉川由美(はっち文化創造事業ディレクター)

公演主催：八戸人生ミュージックシアター実行委員会、
八戸市[八戸ポータルミュージアム はっち]

協賛：南部電機株式会社

音響・照明指導：株式会社アート&コミュニティ



ものづくり支援事業

八戸のものづくりの中核を担う 人材の育成

初年度は、市民にもものづくりの楽しさ・面白さを伝えるため、月に1度ものづくり体験を行い、ものづくりスタジオのファンを集ってきた。2年目はより一歩踏み込み、市民ファン開拓とものづくりスタジオ入居者にとって経験値をふむための事業「ものづくり体験イベントのアウトリーチ」・「長期プログラムもの labo」・「八戸近郊作家のための手仕事人(てしごとびと)の小さな暮(く)らふと市」を行った。3年目は、初年度から入居している作家にとって卒業年度となったため、負担にならない範囲内で4階へ集客するようなイベントを開催した。それぞれ最終年を過ごすための時間につかっていただいた。



■第2木曜日の自遊空感

4階リビングでものづくりスタジオ入居者とお客様とが交流できる空間を演出。お茶をしながら作家と交流し、ものづくりの背景など語り合うことで手仕事の良さやオリジナル商品の価値を伝える機会とすることを目的に開催。

- ・実施日：2013年4月11日以降、毎月第2木曜日
- ※11・2・3月以外で、全9回開催



■手仕事人の小さな暮らふと市

八戸近郊で活動するものづくり作家のためのクラフト市。ものづくり文化・価値の普及と若手ものづくり作家支援を目的として開催。26名の応募があり22名が出展。うち新しい作家は9組。2年目となる今回は新たにまちづくり会社(商工会議所)と共催し、中心街回遊スタンプラリーをてより・まちの駅・チーノ・はっちで実施した。3日間で約8,000名の来館者でにぎわった。

- ・実施日：2014年3月21日(金・祝)～23日(日)



■アドバイザー派遣事業

ブランドシートをもとに、はっちに入居中の各店舗が自己分析をし、ビジネスとしての起業に向けてのブランディング、顧客のつかみ方、発信力強化などについてアドバイザーから指導を受けた。

- ・実施日12月26日(木)
- ・アドバイザー：関橋英作(八戸市出身、クリエイティブプランナー、八戸特派大使、はっちアドバイザーボード委員)



県南地方、年内最後の屋内クラフト市



はっち市2013

はっちが
ちっちゃな街になる

全国から集まる89組のクラフト作家のほか、フードやライブ、展示、ワークショップなど「はっちがちっちゃな街になる」をコンセプトに行われる県南地方で年内最後の“屋内クラフト市”。手作りの大切さや良さを体感してもらい、本物のものづくりの楽しさや作品に触れる機会の創出となることを目的に開催している。

クラフト

南は九州宮崎県・四国香川県から北は北海道まで、全国24都道府県から89組の作家が出展。15組の手仕事人から直接伝授してもらえるワークショップ(スタンドグラス、木工、皮革、布細工、糸つむぎ、裂織、アクセサリーなど)も開催。

フード・カフェ

4階にはイタリア料理店、フランス料理店が、5階には体に優しい麴デザート、自家焙煎珈琲など、くつろげる空間が出現。

ライブ&トーク

1年目「伝統と移行」、2年目「熟成する野性」に続いて3年目は「郷愁と未来」がテーマ。アイヌ音楽の魅力を国内外にらしめてきたミュージシャン OKI とアイヌの伝統歌「ウポポ」の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループ Marewrew とのコラボステージ。

展示「アイヌの生活と手仕事」

3階ギャラリーでは、『アイヌの生活と手仕事 イランカラプテ こんにちはアイヌ文化』を実施。初日には、アイヌ文化財団よりアドバイザーの富樫氏をお呼びし、ギャラリートークも開催した。

子ども商店街

4階子どもはっちでは、おすし屋さん、パン屋さん、アイスクリーム屋さんがオープン。そのほか、ちぢみっこづくりも。

ちびっこアートひろば

2階ギャラリーでは、子どもたちが気軽にアートを体験し、描いたり切ったり触れたりできる空間「ダンボールジャングル」が出現。

冬の外カフェ

正面オープンカフェでは、冬の東北を楽しめるブースが登場。グリーンハウス・そーるぶらんちかふえ・woodrack が新しい試みにチャレンジ！

はっち市放送委員会

コミュニティラジオ局 BeFM の特設会場から生放送。放送時間以外も、はっち市放送委員会による館内放送を実施。

街中コラボ① フォーラム八戸

八戸フォーラム連携企画で「郷愁と未来」をテーマとした特別企画「スクリーンビューティーズ」オードリー・ヘップバーンの3作品「ティファニーで朝食を／パリの恋人／麗しのサブリナ」を期間限定で特別上映。

街中コラボ② 街中「福」勉強部屋

イベント期間中、高校生のための勉強スペースが街中にオープン。この時期は、高校生にとって期末試験の真っ最中。「福年ファクトリー」を学生の勉強部屋とし、高校生にも勉強の合間にははっち市での良いモノ・ヒトや、美味しい食との出会いをお楽しみいただける場所を提供。

「いい夫婦の日」

はっち市初日が11月22日と「いい夫婦の日」であったことから、初めて「いい夫婦の日」企画を開催。はっち市オリジナルトバックのプレゼントや、いい夫婦証明書(はっち市役所より発行)など盛り上がった。

○実施日

2013年11月22日(金)12:00~18:00
11月23日(土・祝)10:00~17:00
11月24日(日)10:00~17:00

○協力団体

コミュニティラジオ局 BeFM、福年ファクトリー、
八戸観光コンベンション協会、フォーラム八戸

○主催：八戸市、はっち市実行委員会

○来場者数：3日間で約20,000人



作り手の手仕事を間近でみながら
買い物ができる、工房兼ショップ

はっちの2階・3階・4階に屋台のように点在する「ものづくりスタジオ」は、八戸の伝統継承と新たな価値創造がテーマのアトリエ兼ショップ。最長3年間の入居期間を経て、中心街に出店することを目標としている。

■フード

「たまに庵」が2階から1階へ店舗を移転し、新しく「たまに庵の一ぽ」としてリニューアルオープン。2階には、新店舗「Sports café RUOTE」が入居。

■クラフト

4階のものづくりスタジオには新しく「さをりのはらっぱ」「PACHAMAMA」2店舗がオープンし、年度末に卒業。2013年度は、オープンから入居している作家にとって3年目を迎え、節目の年となった。

■2013年度 ものづくりスタジオ入居者一覧

| | | |
|------|------------------------------------|--------------------------------|
| クラフト | おもちゃハウスくれよん (おもちゃ) | 入居中 |
| | 工房「澄」 (南部裂織) | 入居中 |
| | LANDPROTECT (漆/jewelry) | 【卒業】2014年3月 市内工房で活動中 |
| | codecake (布・雑貨) | 【卒業】2013年8月 自宅工房で活動中 |
| | 虹灯～nijiakari～ (ろうソク) | 【卒業】2013年7月 中心街チーノに移転 |
| | さをりのはらっぱ (さをり織り) | 【入居】2013年4月 【卒業】2014年2月 |
| | PACHAMAMA (カラフル小物) | 【入居】2013年5月 【卒業】2014年3月 |
| フード | たまに庵 (和カフェ) | 【卒業】2013年5月1日 1階にリニューアルオープン |
| | Sports café RUOTE (パスタ、サンドウィッチ) | 【入居】2013年7月 |
| | 里山夢食堂 (健康料理) | 【卒業】2014年3月 八戸市公会堂に移転 |
| | very berry juice (フレッシュジュース) | 2014年4月より 店名を変更し入居中 |
| | りんごの木 (健康料理) | 2014年4月より 店名を変更し入居中 |

| | | | |
|---|---|--|---|
|  | さをりのはらっぱ さまざまな糸から作り出される 個性あふれる織物 |  | Sports café RUOTE 八戸のスポーツとアートを 結びつけるスポーツカフェ |
| LANDPROTECT 漆工と彫金の高い技術で 「新・八戸伝統工芸」を創造 |  | たまに庵 地場の食材を使用した ほっこり小さな和空間 |  |
|  | very berry juice 野菜ソムリエがつくる ジュース&スイーツ |  | codecake 「編む・縫う・織る」が 生み出す繊細な布雑貨 |
| 工房「澄」 南部裂織のやさしい匠に出会 えるアトリエショップ |  | PACHAMAMA カラフルな布小物で 心も明るく |  |
|  | りんごの木 郷土の食文化と食育を楽しむ 世代間交流の広場 |  | 里山夢食堂 季節の産物を取り入れた安心 でおいしい健康食 |
| 虹灯～nijiakari～ 空間を演出してくれる 手作りキャンドルのお店 |  | おもちゃハウス くれよん やさしい手作り おもちゃの店 |  |

お祭り in はっち2013 (八戸三社大祭)

はっち流「八戸三社大祭」の
楽しみ方をご提供！



加賀美流騎馬打毬 観戦ツアー

今年は、国内3か所ではしか実施されていない「騎馬打毬」にスポットをあて、パネル展や観戦ツアーを実施したことで八戸の魅力により多くの市民や観光客にアピールできた。また、小太鼓体験など毎年恒例の企画も昨年より参加者が多く、少しずつ定着してきた。

■はっちの山車展示

- (はっちひろばに山車を出し入れし、山車小屋を再現)
・期間:2013年7月31日(水)～8月16日(金)
・協力:長横町粋組、八戸共進会山車組

■山車ライトアップ

- (ライトアップされた山車を展示)
・期間:2013年8月5日(月)～8月16日(金)

■三社大祭&加賀美流騎馬打毬パネル展

- (起源や行列内容をわかりやすく展示)
・期間:①2013年7月28日(日)～8月11日(日)
②2013年8月7日(水)～8月16日(金)

■創作和紙人形展～お祭りがやってきた！～

- (昔の三社大祭が再現された和紙人形を展示)
・期間:2013年7月28日(日)～8月16日(金)
・制作:和井田良子

■加賀美流騎馬打毬 観戦ツアー

- (解説を聞きながら騎馬打毬を楽しめるツアーを開催)
・日時:2013年8月2日(金)
・場所:長者山新羅神社(集合:はっち)
・参加料:500円
・参加人数:28名

■小太鼓体験～たいこでドン！～

- (お囃子の映像を見ながら太鼓が叩ける体験を実施)
・期間:2013年8月1日(木)～8月4日(日)
・参加人数:495名(4日間合計)

■ドキュメンタリー映像詩「馬と人間」上映会&トーク

- (馬と共に生きる人々を描いた映画の上映会とトーク)
・日時:2013年8月2日(金)
・参加人数:20名

○協力団体

おがみ神社、長者山新羅神社、神明宮、
デーリー東北新聞社、いちいの会、和井田良子、
大澤未来、大淵靖子、長横町粋組、八戸共進会山車組、
市職員互助会、市社会教育課



今では見られない芸能も！ 創作和紙人形展



大人も子どもも小太鼓ドン！ 小太鼓体験



ムード溢れる大人の空間 山車ライトアップ

えんぶり in はっち

見て楽しい・体験できる！
はっちのえんぶり



恒例企画となっているえんぶり公演や衣装着付け体験は多くの方に足を運んでいただいた。毎年来ていただいている方も多く、定着してきている印象を受けた。また、観光客のみならず市民も多く訪れており、当企画の目的である市民の方々にもえんぶりの魅力を再認識してもらっている。

えんぶり公演時に雪に見立てた紙ふぶきを降らせる演出は、出演組・観客ともに好評であった。

■えんぶり公演

- （ド：どうさいえんぶり、ナ：ながえんぶり）
- ・日程：2014年2月17日（月）—市庁（ド）
2月18日（火）—山道（ナ）、妙（ド）
2月19日（水）—重地（ナ）、仲町（ド）
2月20日（木）—内丸（ド）、大久保（ド）
- ・観覧人数：約1,050名（全日程合計）

■えんぶりシアター（練習風景などの映像上映）

- ・期間：2014年2月17日（月）～2月20日（木）

■市民作家 作品解説（館内展示作品の作者が直接解説）

- ・期間：2014年2月17日（月）～2月20日（木）
- ・内容：高橋寛子（えんぶり和紙人形作家）
下崎雅之（えんぶり人形ジオラマ作家）

■えんぶり衣装着付け体験

- （太夫や松の舞の衣装を着て写真が撮れる体験ブース）
- ・期間：2014年2月17日（月）～2月20日（木）
- ・料金：1回200円（オリジナル手ぬぐいを進呈）
- ・体験者：88名（全日程合計）

■春を呼ぶ、創作和紙人形展

- （明治初期のえんぶりの様子を再現した和紙人形展）
- ・期間：2014年2月17日（月）～2月24日（月）
- ・協力：和井田良子

■えんぶり空間写真展「凍てつく大地に根を張って」

- ・期間：2014年2月12日（水）～2月23日（日）



ミニえぼし作りのワークショップ



えんぶり衣装着付け体験



迫力のあるえんぶりステージ

■お休み処 えんこえんこ

- ・期間：2014年2月17日（月）～2月20日（木）
- ・協力：NPO法人はちのへ未来ネット
- ・利用人数：約300名（全日程合計）

■ミニえぼしを作ろう！！

- ・期間：2014年2月18日（火）～2月20日（木）
- ・協力：NPO法人はちのへ未来ネット
- ・体験者数：約50名（全日程合計）

○協力団体

市庁郷土芸能保存会、道机組山、妙机組、
重地えんぶり組、仲町えんぶり組、内丸えんぶり組、
大久保机組、高橋寛子、下崎雅之、和井田良子、
NPO 法人はちのへ未来ネット、mamo、fielder



観光振興
事業

A-FACTORY 出展

青森市の玄関口で
はっちが PR 展示

青森駅東口すぐに位置する複合施設「A-FACTORY」。シードル工房と青森の食材・お土産を集めたマルシェがあり、多くの観光客が訪れるこの人気スポットではっちが出張展示を行った。2階スペースを中心に、国立公園指定を受けた種差海岸をはじめとする、八戸観光の魅力をPRする展示を実施。別フロアには八戸のカネイリミュージアムショップも出店し、多くの方に八戸を印象付けることができた。

- 実施日:2013年6月1日(土)~30日(日)
- 共催・協力団体:A-FACTORY(株式会社JR東日本青森商業開発) 青森市





はっちの観光展示の特徴のひとつは、市民の手によるものが非常に多いこと。展示作品を制作した「市民作家」の皆さんと併せて、大切な担い手となっていただいている方々が「市民学芸員」。

はっち館内種差海岸の紹介コーナーでは、種差海岸で自然観察・保護活動が続ける「植物観察わの会」の皆さんが7～10日間に一度のペースで、今咲いている植物や風景の写真をコメント入りで更新している。また、館内展示映像では、これまでも携わっていただいている市内の女性映像サークル「ミセスV6」の皆さんが、2013年度は「第二次世界大戦」を八戸で体験した市民の方に取材したインタビュー作品を制作。お披露目は2014年度実施。

加えて、新たな観光情報発信の担い手育成事業「はっち特派員」。市内で活躍するブロガー、地域メディア関係者の方に企画から協力いただき、さまざまなリアルタイムの地域情報を「はっち目線」で、情報発信・掲示してもらうという企画。2013年度は準備期間として、一般市民向けの特派員養成講座の準備を行ったほか、「八戸えんぶり」の時期に写真展を開催した。

■「旬の種差海岸の花々」写真レポート

- ・実施団体:「植物観察わの会」
- ・場所:2階 観光展示「種差海岸コーナー」

■「わたしの戦争体験」インタビュー映像制作

- ・製作:ミセスV6
- ・インタビュー出演者:山根勢五、西久保秀雄、石橋カネ
- ・協力:八戸市立図書館※映像上映は2014年度に実施。

■「はっち先行特派員」特派員企画会議

- ・期間:2013年9月～2014年3月

■えんぶり空間写真展「凍てつく大地に根を張って」

- ・期間:2014年2月12日(水)～2月23日(日)
- ・実施:市内ブロガー fielder、mamo
(※どちらも先行特派員)
- ・協力:下崎雅之(えんぶり人形ジオラマ作家)
栗橋潤子(自然治癒サロンいるかの家)
- ・来場者:約400名



わの会による種差海岸の植物紹介



ミセスV6制作の戦争体験のインタビュー



**はっちリレーショナル・プレス
はちみつ**

**このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報**

はっち館内のことはもちろん、八戸の魅力を紹介するフリーペーパーとして、2013年度までに全16号を発行。全国の公共施設にも配布していることから、年々全国からの問い合わせが増えてきている。年4回のペースで発行。

- ・発行部数: vol.13~15 15,000部
vol.16 18,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約130か所
その他市外約360か所に配布
- ・刊行日: 2013年6月、9月、12月、
2014年3月

**放送スタジオ
「びびすた♪」
ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報**



毎回、さまざまなジャンルのゲストが出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」という顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみの一つですが、はっちではガラス張りの放送スタジオで公開放送している。スタジオの前で話している様子見ながら楽しむこともできる。「お客さんと空間を共有できる」はっちのラジオ放送をぜひ覗いて見てほしい。

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月~金 11:30~15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



**市民のみなさんの
活動・交流の場**

はっちの三大事業のひとつである貸館事業。市民のみなさんがはっちの施設を利用し、さまざまな催し物が開催されている。年々利用者は増えており、毎年恒例で開催されるイベントも増えている。各施設での利用事例を紹介する。



**○貸し館の稼働率
(2013年4月～2014年3月)**

| スペース | 稼働率 |
|--------|--------|
| ギャラリー1 | 90.00% |
| ギャラリー2 | 74.80% |
| ギャラリー3 | 64.90% |
| シアター1 | 90.00% |
| シアター2 | 89.40% |
| はっちひろば | 70.50% |
| レジデンス | 89.30% |
| 音のスタジオ | 78.20% |
| 和のスタジオ | 49.00% |
| 食のスタジオ | 36.10% |
| 共同スタジオ | 63.30% |



3F ギャラリー3

ピクチャーレール・展示用照明がある個展に最適な展示スペース。作品展示が多く開催されている。

【使用事例】 Mix Juice 展 3 ばいめ
4月27(土)～29日(月・祝)
市内の若手作家グループによる作品展示会。
はっちでは3回目の開催であった。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。音楽ライブ・映画上映などが多く開催されている。

【使用事例】 J-Rock cover special Live In Hacchi 2013
8月25日(日)
市内のバンドがシアター2を利用し、音楽ライブを開催された。はっちシアター2での開催は2回目。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレールがあり、講演会・作品展示などが多く開催されている。

【使用事例】 工藤紅花と大橋遼花社中展
6月20(木)～22日(土)
書の展示会。昨年のはっちひろばでの開催に続き2回目の開催であった。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある。個展に最適な展示スペース。作品展示が多く開催されている。

【使用事例】 亀好帯と花衝立展
10月9日(水)・10日(木)
市内の着物店が年に数回企画展を開催している。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどが多く開催されている。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古、健康体操などが多く開催されている。



4F 食のスタジオ

調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。料理教室・試作品製作が多く開催されている。



3F 和のスタジオ

炉を備えた32畳の和室。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古が多く開催されている。



3F 音のスタジオ

音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習として利用されている。



2F ギャラリー2

ピクチャーレール・展示用照明がある。個展に最適な展示スペース。作品展示が多く開催されている。

【使用事例】織る編む焼く三人展
5月10日（金）～12日（日）
陶器、裂織、籐工芸作品展示販売が開催された。
はっちひろばでの開催は2回目。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会などが多く開催されている。

【使用事例】ようちえんの広場
8月31日（土）
市内幼稚園のPRイベント。
はっちひろばでは昨年度に続き2回目の開催であった。



来館者とまちをつなぐ ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、毎日2人いるガイドに案内してもらうと、また違ったはっちを楽しめる。

館内案内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは30代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド常駐時間 9:00~17:00



はっちボランティアガイド活動日報より

- 今までは説明も聞かずに帰っていたが、説明を聞いたなら「はっちのすばらしさが分かりました。今度、友達・家族と一緒に来ます。」と言われた。
- 1階の展示屋台を御案内したところ、「八戸のため、ボランティアガイドがんばってください。応援しています。」と言われ、うれしかった。
- 1週間ほど前に1階から4階までご案内した方に、「この前のガイドありがとうございました。ガイドによりはっちの館内の見方が以前と変わりました。」と言っていただいた。
- 青森市からご夫婦とその娘さん。以前八戸に住んだことがあるとのことで、2階~4階を御案内。「また八戸に住みたくなった！」とうれしいことを言っていただきました。
- はっちがオープンしたとき来館し、「無駄な税金を使って、エスカレーターはデパートのようになっていないし、年配者には向かないと思っていた。」というので、はっちのコンセプトや、たくさんのイベントを館内でやっていることなどを話しながら1階、2階を案内したところ、「今日の説明を聞いてはっちのことがわかった。今度3階、4階を案内してもらいたいのでもた来ます。」と15:00のからくり時計を見て喜んで帰られました。いつでもボランティアガイドがいるので、インフォメーションにお声がけくださいと話しておきました。



年齢層も幅広く、それぞれの持ち味で来館者を楽しませている



ガイド研修会を開催して知識の向上に努めている



はっちを飛び出して、施設見学研修も実施している

こどもはっち

未来の文化を
創造する
こどもたちに
開かれた場



こどもはっちは県産材の木の温もりをたっぷり感じながら遊べるこどもとおとなの交流空間。毎週末におもちやの工作や読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。パパ・ママたちの出会いの場のサークル活動や育児・子育て相談事業を実施するとともに、各地域の子育て情報を発信するなど、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全てのこどもたちが夢いっぱい健康やかに育つように、そしてこどもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみならずご協力いただきながら、事業を行っている。

★利用者の声(アンケートより抜粋)

こどもはもちろんですが、こどもが遊んでいる様子を見て親も楽しめる場所です。自分の子がいつの間にかこんな事までできるようになったとか、こんな遊びに興味が出て来たのかとか、発見することも多いです！

こどもはっちは遊びに来るたびに改善されていたり、おもちゃが増えたりして過ごしやすいつ場所になっていると思います。季節ごとのイベントも大好きです。



皆さんでのんびりとパママトーク



人形劇観賞のあと、劇団の皆さんと一緒に記念撮影



スタッフによる読み聞かせもすっかり定着しました



お子さんを連れてきたパパのご利用も非常に増えてきました!



ふたごちゃん大集合。赤ちゃんからご年配まで50組の双子さんが集合した



ちびっこダンス。ママも思い切り体を動かしてリフレッシュ



ちびっこ商店街。こどもはっちの中にパン屋さんやお寿司屋さんが開店



毎週末こどもはっち内でお楽しみ工作教室開催。大人気!



春と秋、大型バスに乗って遠足に出かけました



はっちひろばでのクリスマス会。お楽しみがいっぱい!



豆まき会。鬼の役をやってくれるなど、高校生ボランティアも大活躍

2013年度 はっちの自主事業

| 区分 | 事業名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|--------------|-----------------------|--------------------------------|---------------|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|--------------------|--------------|----------------------------------|--------------------------|-------------|----------------------|----------------------------|
| 3周年事業 | 会所場づくり | 年間を通じはっちに 気軽に立ち寄り 集う場を創出 | | | | | | | | | | | | |
| | 貸館事業 | 石橋品三郎展示会 | | | 八戸小唄流し踊り | イカの日 | 森田くまの 国際交流フェスタ | 日本酒で乾杯 | 森のめぐみ展 | はっちで干葉高 | NHKハート展 | 小原流筆展 | | |
| | こどもはっち | 双子ちゃん展合 | こどもはっちGW | おまがり市 バス遠足 | まるごとこどもはっち 夏まつり | 親子ワークショップ (参加型おはなし会) | 映画上映会 | バス遠足 | | クリスマス | おもちゃ | 豆まき | なりきりおひなさま | |
| 中心市街地賑わい創出事業 | ①プロジェクションマッピング | | | | | | | | | | | 映像展示 | | |
| | ②南館製織 | 制作ワークショップ開始 | | | | | | | | | | 作品展示 | | |
| | ③ショートムービーズ | | | | | | | | | | | | フェスティバル開催、記 録映像製作 | |
| | イベント連携事業 | | (ホコテン) | (ホコテン) | (セタ) | (ホコテン) | (ホコテン・ミュージック レビュー) | (ホコテン・コナモン) | | | | | | トークイベント開催 (3/22) |
| | ライブ러리事業 | | | | | | | | | | | | | モヨツチウォーク (12/15)、Marble |
| 文化芸術振興事業 | モヨツチ参道 | まらあるきWS(4/21) 制作WS(5/19) | | モヨツチウォーク(6/16) | | | | | | | | | | モヨツチウォーク(3/16) |
| | 市民活動連携事業 | | | | 美人塾(8/3) | | | | | | | | | はちのへ演劇祭(3/14 ～16) |
| | シーズンイベント | | GW(4/27～5/22) | | セタ(7/1～8/5) | | | | | | | | | 雛めぐり(3/1～23) |
| | 和日カフェ | 和日カフェ(4/21) | 和日カフェ(5/19) | 和日カフェ(6/16) | 和日カフェ(7/21) | 和日カフェ夏(フェスタ) (8/18) | 和日カフェ(9/15) | 和日カフェ秋(10/20) | 和日カフェ(11/17) | 和日カフェ(12/15) | 和日カフェ冬(ワロケ サ企画)(1/19) | 和日カフェ(2/16) | | 和日カフェ(3/16) |
| | アーティスト・イン・レジデンス 事業 | | | | | | | ツールド八戸 | | | | | | |
| ものづくり支援事業 | 横丁活性化事業 | | | | | | | 酔っ払いに愛を、横丁 月間実施 | | | | | | |
| | ものづくりスタジオ支援事業 | 自遊空感(4/11) | 自遊空感(5/9) | 自遊空感(6/13) | 自遊空感(7/11) | 自遊空感(8/8) | 自遊空感(9/12) | 自遊空感(10/10) | | アドバイザー派遣事業 実施、自遊空感 (12/12) | 自遊空感(1/9) | | 暮らと市 | |
| | はっち市2013 | | | | | | | | | | | | | |
| | お祭り連携事業 | | | | | | | | | | | | | えんぶり連携事業 (2/12～23) |
| | フィールドミュージアムアクセス 事業 | | | | | | | | | | | | | ライトショー観覧ツアー |
| 観光振興事業 | 特派員 | | | | | | | | | | | | | えんぶり特派員写真展 (2/12～23日) |
| | | | | | | | | | | | | | | |



2013.4-2014.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

発行日 2015年2月28日
発行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
TEL 0178-22-8228
FAX 0178-22-8808
<http://hacchi.jp>
